

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年6月23日～6月29日)

2020年6月30日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領、プーチン露大統領と電話会談(6/19)

●習近平国家主席と電話会談(6/11)

●米国のベラルーシ政府高官に対する制裁、2021年6月16日まで1年延長(6/11)

【ルカシェンコ大統領動静】

●教育分野の活動家と会談。(6/29)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・あなた方は、専門家を育てているだけでなく、我々の国民に教育を行い、社会の知的エリートを形成している。教育分野の発展における実績と将来性を話すだけではなく、焦眉の問題についても協議する客観的な必要性がある。

・最近、インターネットで所謂「言論形成者」と呼ばれる者が現れた。彼らはインターネットに意見を投稿し、興奮する。しかし、私は、あなた方教育者こそ、本物の「言論形成者」であると考えている。高等教育機関の教授や教育者が国民の意見を形成していかないなら、誰ができるというのであろうか。

・我々は前進し、我が国の発展を考えていく必要がある。既存の教育システムを壊すのではなく、改善していく。次の5カ年計画で教育分野の従事者の給与を150%に必ず増やす。

・過去、1990年代後半から2000年代初頭にかけて、大卒の就職難問題があったが、現在は、就職率はほぼ100%である。

(6/29 大統領公式ホームページ)

●高等教育機関卒業式に出席。(6/27)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・学生時代が輝かしく楽しい一方、辛い時期であることを知っている。専門を得ることは、偉大な労働である。

・数世紀に亘りベラルーシの国民的特徴は形成されてきた。あなた方は、勤勉で、責任感があり、規律を重んじ、何事にも関心を持ち、開放的で、祖国に忠実

であるというベラルーシ国民の優れた特徴を有している。

・いつの日か、あなた方が、我々の世代と同様に、子供や孫に、どのように独立したベラルーシを作り上げてきたか、国家の富を維持してきたか、平和や秩序を守ってきたか、そして、どれほど祖先を誇るか、伝統を大事にしているか、を語ってくれることを夢に見ている。

(6/27 大統領公式ホームページ)

●ミンスク州ソリゴルスク市、訪問。(6/26)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・次の社会経済発展五カ年計画は、地域の名士だけでなく、地域住民や企業の経営陣にも理解してもらう必要がある。ミンスク州では、伝統産業だけでなく、新規の産業も誕生すべきである。ミンスク州は、国の基礎というだけではない。ミンスク州の潜在性は、我が国の経済の複製である。全ての分野、事業体が存在する。

・ベラルーシカリ社(注:ベラルーシにある国営鉱業企業)は、国家の誇りである。かつて、同社を販売してほしいと提案があったが、私は、350億ドルという高額な値付けをし、誰も買うことができなかった。同社は順調に稼働しており、販売する必要はない。

・ベラルーシは、ソ連時代から続く潜在性を維持し、新たな成長も遂げていく。つまり、我々は、根本を壊し、新たなに立て直すために、変化や改革を行うことはない。仮に、現存するものを壊し、作り直す場合は、数兆ドルでは足りず、10兆ドルかかるだろうが、そんな大金を有する国はない。

・一方、ミンスク州には、大きな2つのプロジェクトが

ある。一つは、ベラルーシ・中国共同産業特区「巨石」であり、これは中東欧における「一帯一路」イニシアチブの要所となっている。そして、もう一つは、ベラルーシ国立生物技術社である。同社は、次の五カ年計画の課題となる品質、輸出、輸入代替の発展の方向に進んでいる。

・また、ソ連時代から残る伝統企業として、ベラズ社がある。大型建設機械を製造できる国は限定されている。我々は大型建設機械市場の30%を抑えている。そして、世界で初めて貨物積載量450トンの機械を開発した。国の誇りである。また、大型建設機械だけでなく、乗用車の製造も始まっている。

・何も破壊する必要はない。国家と経済を救い、人々を守り、5%の経済成長を目指す。冷静に、そして平和的に5カ年計画を過ごすこと、これが今日、重要なことである。

(6/26 大統領公式ホームページ)

●モスクワにおける独ソ戦勝利記念軍事パレードに出席(6/24)

(6/24 大統領公式ホームページ)

外交

●マケイ外務大臣、リンケヴィッチ・ラトビア外務大臣と電話会談。(6/26)

両者は、両国における新型コロナウイルス対策とパンデミックによる影響の克服に関する国際協力の強化について協議した。また、マケイ外務大臣は、ベラルーシ大統領選挙における状況の説明を行った。両者は、二国間協力、東方パートナーシップを含めたベラルーシとEUの協力について協議し、積極的な接触の維持を合意した。

(6/26 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、ベラルーシの大統領選挙における国際監視団を招待する用意を確認。

マケイ外務大臣は、「現在、外務省は、保健省に対し、ベラルーシにおける新型コロナウイルスの感染状況と、外国の監視団が同選挙に訪れた際にどのよ

うに対応すべきか、意見聴取を行っている。保健省の回答を基準にして国際的な監視団の招待を行う。」と述べた。

(6/26 ベラパン通信)

●クラフチェンコ外務次官、ソリルン・ギスラドチル欧州安全保障協力機構民主制度・人権事務所局長と電話会談。

両者は、ベラルーシ大統領選挙に関する国際的な監視活動について協議した。

(6/24 ベラパン通信)

●世銀、ベラルーシ教育省と高等教育機関の近代化案件に対する1億ユーロの融資契約を署名。

(6/23 ベラパン通信)

経済

●2020年1月～4月、ベラルーシ製造企業の負債額、去年同期対比約12%増加。

(6/26 ベラパン通信)

●2020年1月～5月、ベラルーシ企業の完成品の在庫数、去年同期対比15%増加。

(6/26 ベラパン通信)

●2020年5月、公務員給与、4月対比7.2%増加。

(6/26 ベラパン通信)

●2020年1月～4月、ベラルーシ・EU間貿易高、去年同期対比17%減少。

(6/26 ベラパン通信)

●2020年1月～4月、ベラルーシ企業の赤字総額、去年同期対比9.1倍に増加。

(6/25 ベラパン通信)

●ベラルーシ石油化学コンツェルンペルネフチェヒム社、アゼルバイジャン産石油(約85千～90千トン)を6月末に受領予定。

(6/24 ベラパン通信)

●2020年5月、国内平均給与、昨年対比、2.9%上昇。

(6/24 ベラパン通信)

●2020年1月～5月、ベラルーシの住宅建設量、5%増加。

(6/20 ベラパン通信)

●2020年1月～5月、ベラルーシへの貨物輸送量、9%減少。

(6/17 ベラパン通信)

●2020年1月～5月ベラルーシ域内総生産、全地域で減少。

各地域の総生産減少率は以下の通り。

ゴメリ州 -2.9%

ミンスク州 -2.8%

ヴィテプスク州 -2.7%

モギリョフ州 -1.7%

グロドノ州 -1.6%

ブレスト州 -1.6%

ミンスク市 -0.2%

(6/17 ベラパン通信)

●2020年1月～5月ベラルーシ国内総生産、昨年対比1.8%減少

(6/16 ベラパン通信)

●ベラルーシ企業の負債額、2020年始より14%増加。

(6/16 ベラパン通信)

●2020年1月～4月、ベラルーシ貿易高、昨年対比17%減少。

(6/10 ベラパン通信)

●カランケヴィチ・ベラルーシエネルギー大臣、ノバク

露エネルギー大臣と電話会談(6/9)

両者は、ロシア産天然ガスのベラルーシ供給条件に関し意見交換を行った。ベラルーシ側は、事業体間の熱量を考慮したガス価格に関する相違の解決を求め、ガスプロム・トランスガス・ベラルーシ社に対し、ガス価格算定方法の開示要請をしている。また、ベラルーシ側は、ロシア産天然ガスが欧州向けではスポット契約、長期契約においても価格下落傾向にあることに関連し、ベラルーシ向けの天然ガスの価格の見直しの必要性を指摘している。

(6/9 ベラパン通信)

軍事・内政

●内務省、ツェプカロ大統領選挙候補の取り調べを実施。

チェマダーノヴァ内務省報道官は「トルコ国民の届け出に基づくツェプカロ氏の違法行為の発生事実に関する資料が、取り調べのため、検察庁より内務省に届いた。」と述べた。チェマダーノヴァ報道官は、トルコ国民の届け出にどのような違法行為が記載されているか明らかにしなかった。また、取り調べがどれほど長く続くかについても述べなかった。チェマダーノヴァ報道官は、「(取り調べ)期間の記載はない。期間が延びる可能性はある。資料は存在しており、取り調べが実施されている。」と述べた。

(6/29 ベラパン通信)

●ミンスク市で水品質低下問題が発生。

水品質低下問題が発生したのは、フルーゼンスキー地区1400軒(46万人)、モスクワ地区860軒(31万人)。

(6/25 ベラパン通信)

●2020年1月～5月、犯罪発生件数、昨年同期対比13.4%減少。

(6/24 ベラパン通信)

ベラルーシ各都市で「連帯」運動が発生し、ベラルー

シ警察特殊部隊が出動。

(6/22 ベラパン通信)

●ババリコ氏支援の署名, 43 万を超える。

(6/19 ベラパン通信)

●ババリコ大統領選候補, 及び同氏の息子, 署名の (了)
提出に出掛けた後, 失踪。

(6/18 ベラパン通信)

●ベルサト社記者, ババリコ氏の撮影後に逮捕

(6/17 ベラパン通信)

●ベラルーシ各地で, 大統領選挙活動に関連し逮捕・拘留された活動家との「連帯」を示すデモが発生。

(6/14 ベラパン通信)

●ベラルーシ政府当局, ベルガスプロム銀行(露ガスプロムバンク社, 露ガスプロム社が 49.8%の株式を保有するベラルーシの銀行。)に対する強制捜査

(6/11 ベラパン通信)